

平成30年度学校業務カイゼン活動

【執務室等整理整頓(義務)】

現状	問題点	改善内容	効果	課題等
教材室や倉庫などに使った物が放置されていることがある。	必要な時に探す手間がかかる。	・使った者が、元に戻すように呼びかける。 ・長期休暇や行事等を利用して、担当者や学校嘱託員等が整理をする。	管理場所が分かりやすくなり、活用しやすくなった。	

【会議精選・運営見直し(義務)】

現状	問題点	改善内容	効果	課題等
小中一貫なので、教職員の共通理解や企画提案のための会議や委員会等話し合いを要するものが多い。	放課後は中学校所属の教員には部活指導があり、なかなか一斉に会議を設定することができない。	毎週水曜日の部活を原則中止にすることにし、放課後に会議が持てるようにした。	水曜日の放課後に、計画的に会議を設定することができ、できるだけ勤務時間内に終わるようになった。	小中一貫校により、小学校と中学校のそれぞれの取組について検討する必要があり、会議に時間を要する。

【業務見直し・削減(義務)】

現状	問題点	改善内容	効果	課題等
地域の力を教育活動へ活用するよう模索している。	打合せの時間や準備の時間等の時間が十分にとれない。	地域団体との一層の連携 ・学校の要望事項の集約 ・地域団体と内容、日時等の打合せの簡略化 ・授業や環境整備等への参加の工夫	・地域を活かした授業づくりにつながった。 ・地域の力を活用することで効率が上がった教科もある。	地域団体と今後も連携をとり、応援内容の充実を図りたい。
直近の仕事に追われている。	目先のことに追われ、多忙感を感じる。	計画的な仕事の遂行 ・2-3か月間の主な行事・提出物等の日程作成・配布 ・教務主任による2週間分の週案の作成・配布 ・見通しを持った仕事の遂行 ・学舎間の連絡の情報機器の活用 ・TV会議システム等	・事前に日程が分かり、余裕をもって仕事を行い、多忙感が減った。 ・TV会議システムの活用で、学舎間を移動しなくても情報共有ができた。	

【情報共有・伝達工夫(義務)】

現状	問題点	改善内容	効果	課題等
小学校と中学校で内容の同じ文書を作成して配布している。	ひとつの義務教育学校になるにあたり、配布する文書を統一する必要がある。	「学校業務支援システム」や「TV会議システム」を活用して、両学舎の間で情報を共有し合い、文書作成やタイムリーな伝達を行う。	お互いの職員の素早い確認や打ち合わせが可能となった。	個人情報の変換の慎重な取り扱いや文書作成担当者の再確認が必要である。

【学校業務支援システムの活用(義務)】

現状	問題点	改善内容	効果	課題等
配布物を各自が印刷し、机上に配布していた。職員連絡会の時に、各担当が教職員に連絡をしている。	印刷・配布に手間がかかる。毎回印刷費用が発生する。	学校業務支援システムの掲示板を活用し、配布文書を添付するようにした。個人連絡や掲示板を活用して連絡事項を伝えるようにした。	印刷・配布の手間が省けるとともに、紙資源の節約につながった。職員連絡会の時間が短縮するとともに、連絡会時に不在の教職員への伝達も確実にできるようになった。	学校業務支援システムが小中一貫校に完全には対応していないことにより、中学校所属の教員が小学校の掲示板を見なくてはいけない。教職員各自学校業務支援システムをこまめにチェックする必要がある。
学校行事の変更や、教職員の出張・休暇等について、管理職や教務主任に確認をする。	教務主任や管理職に問い合わせないと確認できない。	学校業務支援システムの予定表を活用し、行事や出張、休暇等についてこれを見ればわかるようにした。休暇についても、各自が予定表の入力をするようにした。	行事や教職員の動向について、すぐに確認できるようになった。日直の交代等も各自で行い、管理職に報告するだけになった。	学校業務支援システムが小中一貫校に完全には対応していないことにより、中学校所属の教員が小学校の予定表を見なくてはいけない。教職員各自が学校業務支援システムをこまめにチェックする必要がある。

【その他(義務)】

現状	問題点	改善内容	効果	課題等
部活動における県ガイドラインの遵守に向かって取り組み中である。	専門的な指導ができない部活動があり、顧問の数も限られている。	「部活動外部指導者」の活用	該当部活動の専門的な指導ができるようになった。顧問の部活動への負担が減った。	他の部活動にも広げていきたいが、適任の外部指導者を見つけることが難しい。
年休を取ることが難しい。	課業日に年休を取ると、授業の進度への影響や他の教職員の負担が増える。	年休を取れる体制作り 1 長期休業中 ・年休が取りやすい期間の周知 ・会議等がない期間の設定 2 課業日に年休を取らなければならない場合 ・学校体制で取り組むことの共通理解 ・教務主任を中心に、授業の割り振り	・長期休業中には年休を取りやすくなった。 ・授業を担当に戻したり、級外を中心に授業を行ったりする体制作りができた。	